

施 工 条 件 総 括 表

下記項目、事項のうち着色欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、甲(市)と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明 示 項 目	施 工 条 件
Ⅰ 工 程 関 係	1. 関連する別途発注工事あり ・ 工 事 名：①道の駅「朝日」建築、機械、電気工事②道の駅「朝日」拡充に伴う上下水道管移設工事(仮設)③R7道の駅朝日駐車場改良工事 ・ 予 定 期 間：R7年8月～R9年9月
	2. 施工時期、時間、方法の制限あり ・ 時 期： ・ 時 間： ・ 方 法：
	3. 関係機関協議による工程条件あり ・ 協 議 内 容： ・ 完了予定時期：
	4. その他 ・ 別途発注工事の進捗状況による工程調整有
Ⅱ 用 地 関 係	1. 工事用地等の未処理部分あり ・ 処 理 見 込 時 期： ・ 区 間：
	2. 仮設ヤードの指定あり ・ 場 所： ・ 期 間：
	3. その他
Ⅲ 公 害 対 策 関 係	1. 公害防止の制限あり(騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等) ・ 施 工 方 法： ・ 作 業 時 間：
	2. 家屋等の調査の必要性あり ・ 方 法： ・ 範 囲：
	3. その他 ・ 土壌汚染対策法第4条に基づく土地の形質変更届出提出済、区域の指定がなされた場合別途届出の提出が必要
Ⅳ 安 全 対 策 関 係	1. 交通安全施設等の指定あり ・ 誘導員とは警備業者の警備員「警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう」で交通誘導業務に従事するもの ・ 交 通 誘 導 員： ・ その他施設等：
	2. 近接作業制限あり(鉄道、ガス、水道、電気、電話等) ・ 内 容： ・ 工 法 制 限： ・ 作 業 時 間 制 限：
	3. 発破作業あり ・ 保安設備及び保安要員： ・ 防 護 工： ・ 作 業 時 間 制 限：
	4. 防護施設(落石、雪崩、土砂崩落等) ・ 内 容：
	5. その他 ・
Ⅴ 工 事 用 道 路 関 係	1. 一般道路を搬入路としての使用制限あり ・ 搬 入 経 路： ・ 期 間： ・ 使 用 後 の 処 置：
	2. 一般道路の占用 ・ 期 間： ・ 規 制 条 件： ・ 時 間 制 限：
	3. 仮設道路設置 ・ 工法指定の有無： ・ 用 地 関 係： ・ 安 全 施 設： ・ 工事完了後の「存置」又は「撤去」:供用開始となる。
	4. その他

明 示 項 目	施 工 条 件				
VI 仮 設 備 関 係	<div>1. 仮設備の指定あり</div> <div>2. 仮設備の条件指定あり</div> <div>3. 仮設構造物の転用、兼用あり ・ 工 種： ・ 内 容：</div> <div>4. イメージアップあり ・ 内 容：</div> <div>5. その他</div>				
VII 残土・産業廃棄物関係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり				
VIII 工 事 支 障 物 件 等	<div>1. 占用支障物件あり(電気、電話、水道、ガス等) ・ 内 容： ・ 移設、撤去、防護方法等： ・ 時 期：</div> <div>2. 占用物件重複施工あり ・ 内 容：</div> <div>3. その他</div>				
IX 排水工(濁水処理含む)	<div>1. 濁水、湧水処理等の特別な対策あり ・ 内 容：</div>				
X 薬 液 注 入 関 係	<div>1. 薬液注入工法あり ・ 別紙条件明示による</div>				
XI そ の 他	<div>1. 現場発生材あり ・ 品 名： ・ 納 入 場 所：</div> <div>2. 支給品及び貸与品あり ・ 品 名： ・ 引 渡 場 所：</div> <div>3. 品質証明の必要あり ・ 標準仕様書第1編(章)1-1-24による</div> <div>4. その他 ・ 法定外の労災保険の付保 (1)本工事に於いて受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。</div>				
XII 排出ガス対策型建設機械	<div>1. 本工事に於いて以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付建設省経機発第249号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着(黒煙浄化装置付)することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施行現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 種</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベアマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式抗圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン </td><td>ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。</td></tr> </tbody> </table>	機 種	備 考	一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベアマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式抗圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。
機 種	備 考				
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベアマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式抗圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。				
XIII 施 工 方 法 等	<div>・施工条件表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。</div>				